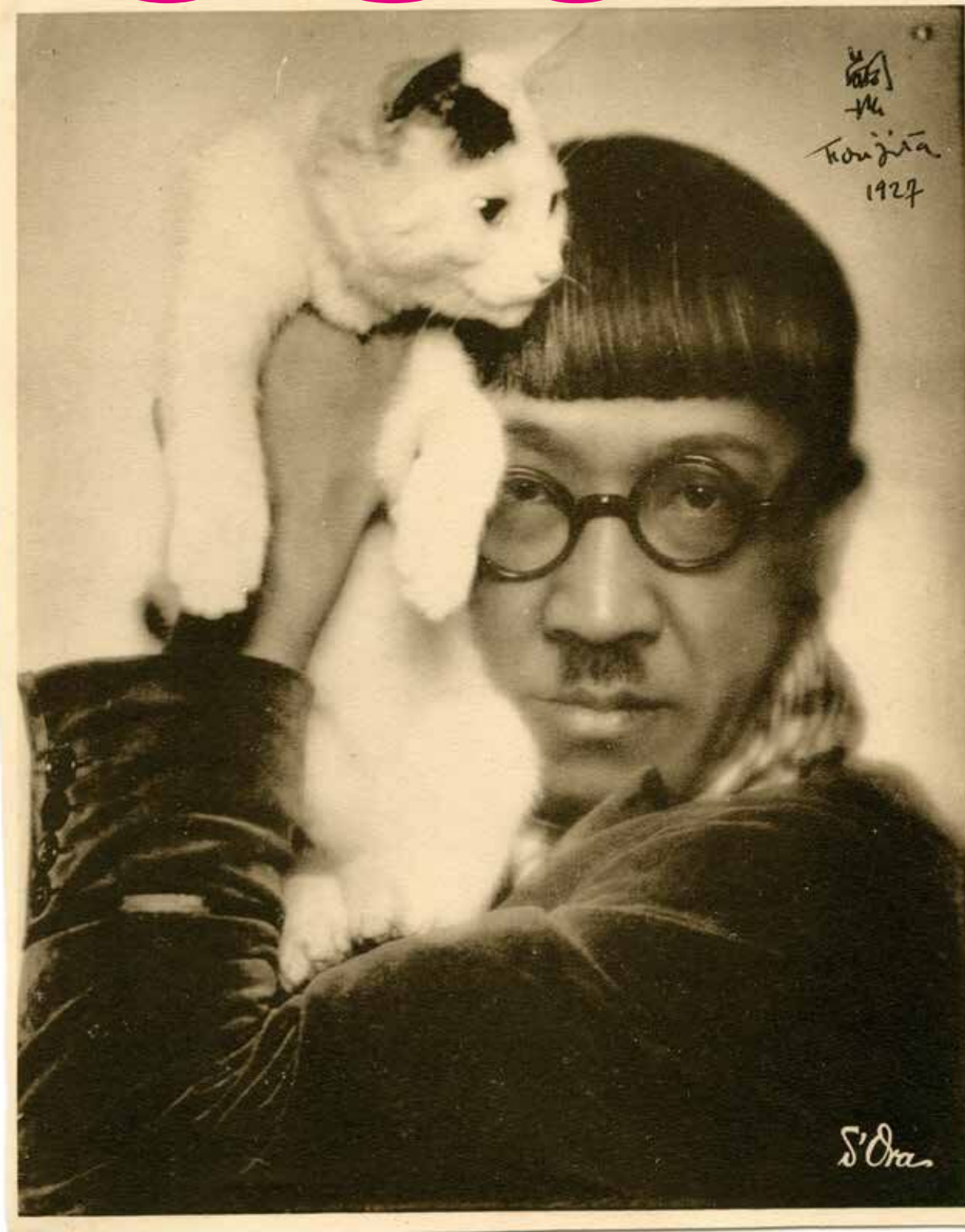


FOUJITA

Painting and Photography

藤田嗣治

絵画と写真



ドラ・カラムス(マダム・ドラ)《猫を肩にのせる藤田嗣治》
1927年 東京藝術大学

開館時間：9：30～17：00、金曜日は20：00まで（入場は閉館の30分前まで）

休 館 日：月曜日（ただし、10月13日〔月・祝〕、11月3日〔月・祝〕、11月24日〔月・休〕は開館）、
10月14日〔火〕、11月4日〔火〕

主 催：名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、読売新聞社、メ〜テレ

後 援：名古屋市立小中学校PTA協議会

協 力：レオナール・フジタ財団、メゾン＝アトリエ・フジタ（フランス・エソンヌ県）、名古屋市交通局

企画協力：キュレイターズ

国際芸術祭あいち2025連携企画プログラム

2025.

9.27〔土〕—12.7〔日〕



名古屋市美術館
Nagoya City Art Museum



芸術と科学の杜

50th
読売新聞中部発行

メ〜テレ

FOUJITA

藤田嗣治(1886-1968)は、エコール・ド・パリの寵児として世界的に活躍した画家です。そんな藤田が、数多くの写真を残したことはほとんど知られていません。本展では、「写真」を軸に藤田の絵画制作を再考し、絵画と写真が交差する創造の軌跡を追います。

若いころからカメラを所有していた藤田は、生涯にわたって数千点の写真を残しました。それらは、思い出の記録として撮影されたばかりでなく、藤田はそうした写真から人々の相貌や衣服、動物、建物などを選び出し、自在に組み合わせ、絵画化することもありました。本展では、代表作とその素材となった写真を併せて展示します。

藤田においては、画家自身の姿を写したセルフポートレートも豊富です。オカッパ頭に丸眼鏡とちょび髭のアイコン的な容貌は、自画像と写真によって広く流布し、藤田の名声に一役買うことになりました。写真というメディアの力にいち早く気づいていた藤田は、戦略的な自己演出にも長けていたのです。

描くことと撮ること、そして撮られること。藤田の様々な視点が、絵画と写真の間に行き交います。多数の日本初公開を含む写真とともに、藤田作品の知られざる魅力をお楽しみください。

Painting



①



②



③

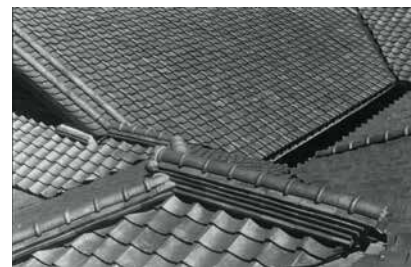
あの人はえらく近眼だし、写真のことなんか知らないですよ。だけでもうまいんですね。

（色彩撮影の実験問題）アサヒカメラ 第41巻第8号 p.144
木村伊兵衛

and Photography



⑤



⑥



④

- ① 藤田嗣治(自画像) 1936年 公益財団法人平野政吉美術財団
- ② 藤田嗣治(フルール河岸(ノートルダム)) 1963年 ランス美術館
- ③ 藤田嗣治(古い老女) 1949年 堀美術館
- ④ 藤田嗣治(市街 バスの前の人々) 1955年 東京藝術大学
- ⑤ 藤田嗣治(中南米の子どもたち) メゾン＝アトリエ・フジタ(エソンヌ県)
- ⑥ 藤田嗣治(日本にて) メゾン＝アトリエ・フジタ(エソンヌ県)

①～③ © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E6089

イベント

記念講演会
「藤田嗣治と写真—記憶、追憶、家族」
【日 時】9月27日(土) 13:00～(約90分)
【講 師】佐藤幸宏氏
(札幌芸術の森美術館館長、本展監修者)

学芸員による解説会

【日 時】10月11日(土)、10月25日(土)、11月22日(土)
各日 14:00～
11月14日(金) 18:00～(いずれも約60分)

講演会および 解説会いずれも

【会 場】名古屋市美術館2階講堂
【定 員】180名(当日先着順、定員になり次第締切)
【参加費】無料、ただし聴講には本展の観覧券(観覧済みの半券も可)が必要。

このほか、子ども対象イベント、ボランティアによるギャラリートークなどを予定しています。

※関連催事についての最新情報や応募方法等の詳細は展覧会公式サイトでご確認ください。
※手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の2週間前までにご相談ください。

観覧料

	前売・団体	当日
一般	1,600円	1,800円
大学・高校生	800円	1,000円
中学生以下	無料	

※団体割引料金は
20名以上に適用

販売場所

・チケットぴあ(Pコード:995-563)
・ローソンチケット(Lコード:41455)
・イープラス・アンビュ(電子チケット)
・セブンチケット(セブンコード:111-826) 名古屋市美術館 など
販売期間 <前売>8月2日(土)から9月26日(金)まで*名古屋市美術館のみ9月7日(日)まで<当日>展覧会会期中

※いずれも消費税込み※障害のある方、難病患者の方は、手帳(ミラリD可)または受給者証の提示により本人と付添者2名まで、当日料金の半額でご覧いただけます。
※高大生チケットあるいは障害者チケットを購入された方と中学生は、当日美術館の受付で証明となるもの(学生証、障害者手帳など)をご提示ください。※名古屋市交通局発行の「ドニエコきっぷ」「一日乗車券」「24時間券」を当日利用して来館された方は100円割引。※「名古屋市美術館常設展定期観覧券」の提示で当日料金から200円割引。※いずれも他の割引との併用はできません。※会期中、本展の観覧券で常設展もご覧いただけます。

※会期中、一部展示替えを予定しています。

最新情報はこちら

展覧会公式サイト



ご来場は公共交通機関をご利用ください。
地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、5番出口から南へ徒歩8分
地下鉄鶴舞線「大須観音」下車、2番出口から北へ徒歩7分
地下鉄名城線「矢場町」下車、4番出口から西へ徒歩10分



名古屋市美術館
Nagoya City Art Museum



〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25
TEL: 052-212-0001
FAX: 052-212-0005

<https://art-museum.city.nagoya.jp/>